

# 震災復旧現場で活躍

## 「高所法面掘削工法」

大昌建設

大昌建設(株)(本社・千葉県長生郡長生村金田2695)が設計・開発した高所法面掘削機による掘削工法が、中越大震災の復旧工事現場で活躍している。

同工法は、高所法面掘削機(ロッククライミン

グマシーン)を用いて、高所法面の切り取り、切り崩し、掘削、抜根、整形、危険度の高い高所作業を、人力に変わり、より迅速、かつ安全に施工できるのが特長。

また、転石や崩壊等の災害の恐れのある現場ではラジコンによる遠隔操作での施工も可能だ。作業は、高所法面掘削機と斜面上部に設置したアンカーをワイヤーロープで確実に固定して行う。足元が崩れても十分な安全率の主ワイヤーで支えているため、掘削機は安

全に作業できる。同工法は、国土交通省の新技术登録(No.KT-010076)を行っており、全国の現場で施工実績がある。新潟県内では、中越大震災の復旧工事の現場で多く採用されており、現在、山古志中心部の地すべり対策などで威力を発揮している。



楢木地区地すべり現場での作業の様子